

第119期 中間報告書

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

大同工業株式会社

Contents

株主の皆様へ（事業の概況）	1
セグメント別の状況	3
財務の状況（連結）	5
会社概要	7
株式情報	8
株主メモ	9
DIDグループ会社の紹介	10





ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申しあげます。

第119期第2四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の営業が終了いたしましたので、報告書をお届けし、ご報告申しあげます。

平成23年12月

代表取締役社長 新家 康三

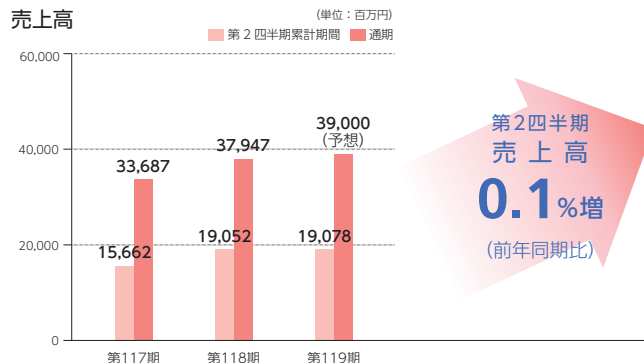
事業の概況

事業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、中国やインド等新興国での経済成長が引き続き見られるものの、ギリシャ財政危機に端を発する欧州の債務問題や米国の景気停滞懸念により、先行き不透明な状況で推移しました。国内においては、東日本大震災及び原発事故に伴う電力不足による影響により経済活動が大きく停滞し、また、急速な円高の進行や株安等により厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、海外拠点の設備の増強に加え、インドにおいて新たに生産工場建設計画を進めるなど、グローバル事業体制の更なる構築と拡販活動を積極的に推進すると共に、生産性の向上、製造費用等の低減に努めてまいり

売上高



ましたが、震災により主要顧客である国内二輪車・四輪車メーカー向けの売上の減少に加え、為替の円高基調や原材料価格の高騰等の影響を受けた結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は190億78百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は4億33百万円（前年同期比34.9%減）、経常利益は4億81百万円（前年同期比15.9%減）、四半期純利益は2億49百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

なお、中間配当につきましては、通期の業績による配当を勘案し、株主の皆様には誠に申し訳ない次第でございますが見送りとさせていただきます。

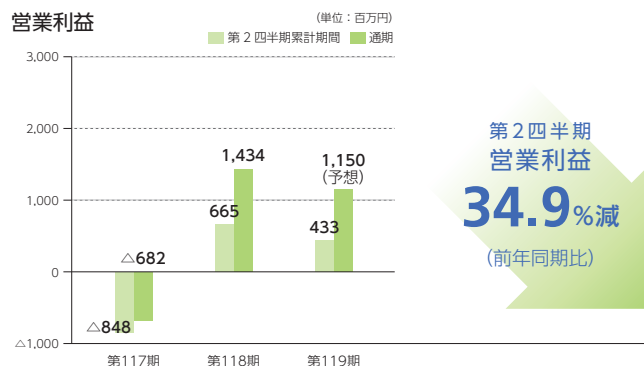
対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、タイ洪水被害による影響の拡大、欧州諸国の財政・金融不安、為替の円高など、引き続き厳しい状況が続くと予想されます。

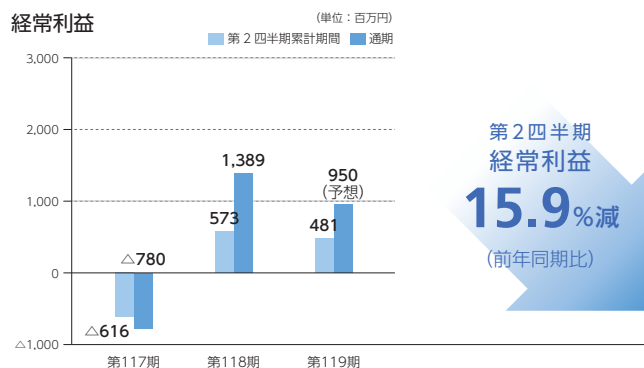
このような状況のもと、当社グループでは第117期よりスタートした第8次中期経営計画の最終年度を迎え、『更なる世界への飛躍』をスローガンに、グローバル事業体制の構築、ものづくりの革新、人を活かす風土づくりをより一層、強力に推進していく所存であります。また、新しい時代のニーズを捉えた新規商品の開発・投入を重点戦略として取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

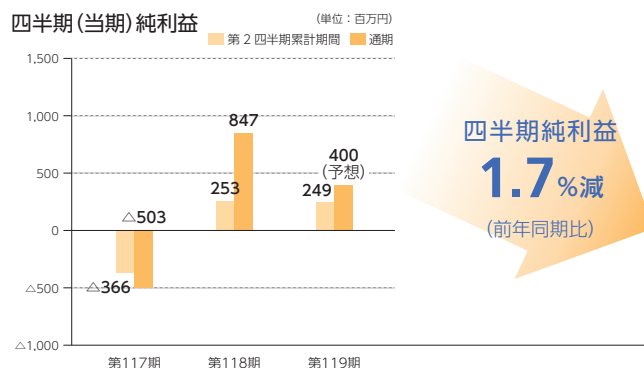
営業利益



経常利益

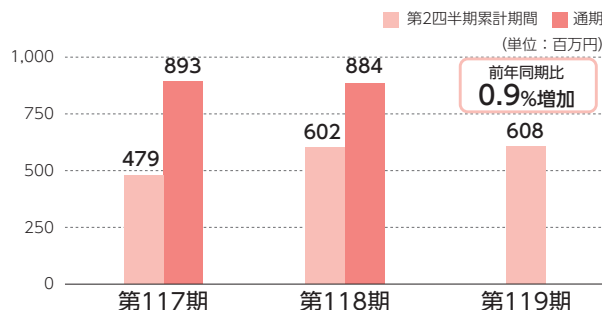


四半期(当期)純利益



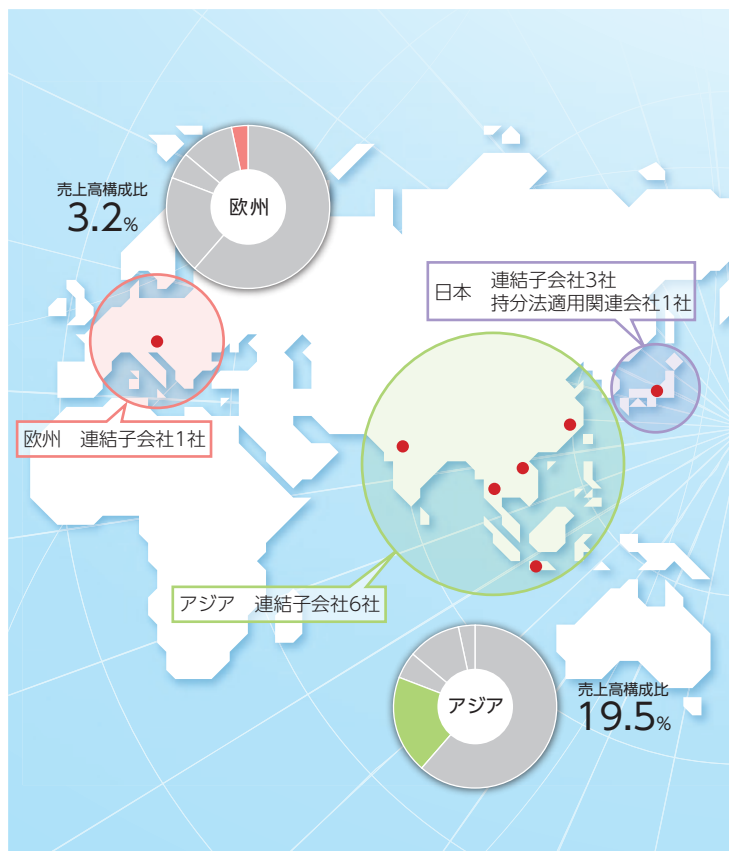
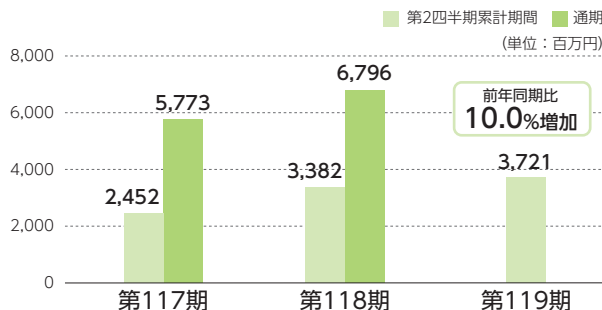
● 欧州

二輪車用チェーン及びリムについて、欧州系の完成車メーカーの販売状況が好調に推移したことから、前年同期を若干上回りました。補修市場向けについては、為替の円高影響もあり、前年同期を下回りました。その結果、売上高は6億8百万円となりました。



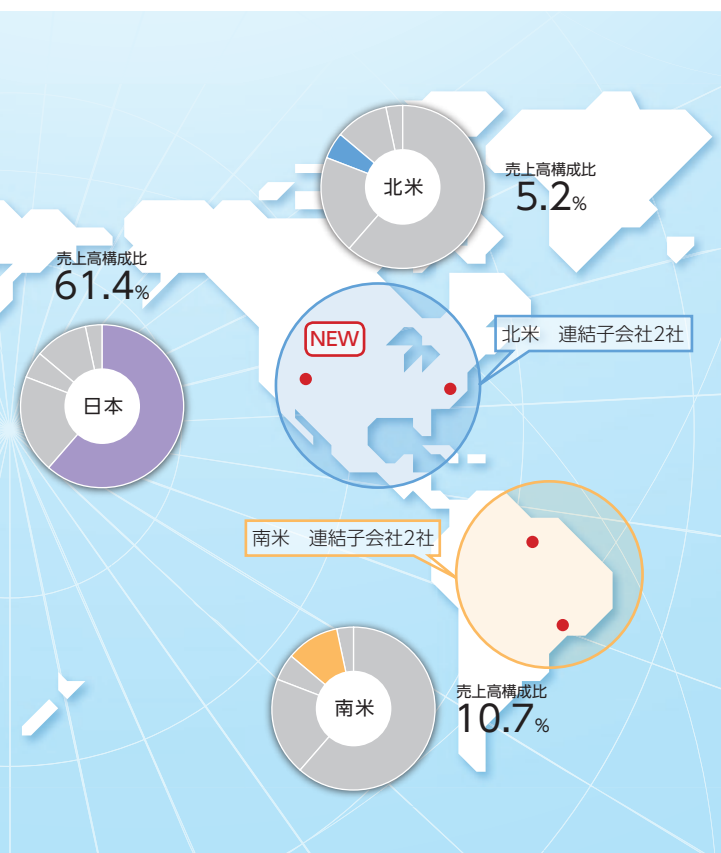
● アジア

四輪車用チェーンについては、中国では震災の影響による日系完成車メーカーの減産により受注は減少したものの、タイにおいて新機種エンジン用チェーンの量産納入を開始したこと等により順調に推移しました。また、二輪車用チェーンについても、補修市場向けにおいてアセアン諸国の旺盛な需要に支えられタイを中心に好調に推移しました。中国におけるコンベヤ関連については、大型案件の受注が乏しく、前年同期を下回りました。その結果、売上高は37億21百万円となりました。



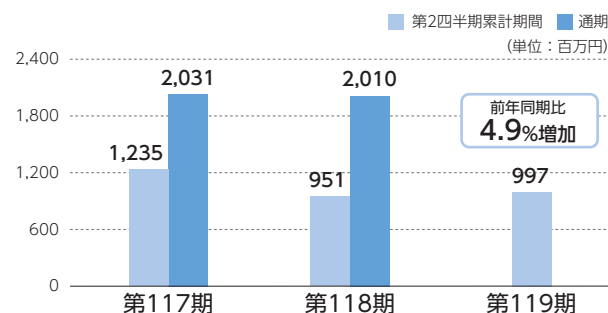
● 日本

二輪車用チェーン、四輪車用チェーンについては、第2四半期以降、震災に伴う完成車メーカーの減産により落込んでいた受注が順調に回復してきているものの、前半の受注減少の影響が大きく、厳しい状況で推移しました。産業機械用チェーン及びコンベヤ関連についても、一部製鉄関連設備の海外向け等の受注が好調であったものの、依然国内においての設備投資需要が低調に推移していることから、厳しい受注状況で推移しました。その結果、売上高は117億5百万円となりました。



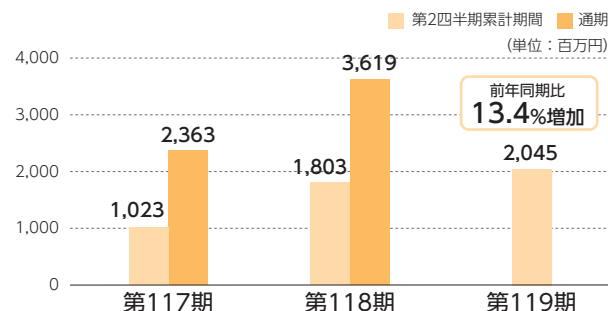
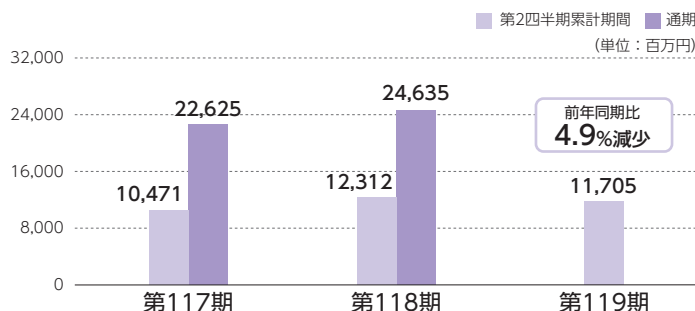
● 北 米

二輪車用チェーン及びリムについては、完成車メーカー向けは、生産の回復基調により前年同期を若干上回りました。補修市場向けは、依然として低調に推移しましたが、新たに二輪車用ホイールの製造販売会社を子会社化したことで前年同期を若干上回りました。産業機械用チェーンについては、北米向けなど、一部市場に回復の兆しが見られてきており、前年同期を若干上回りました。その結果、売上高は9億97百万円となりました。



● 南 米

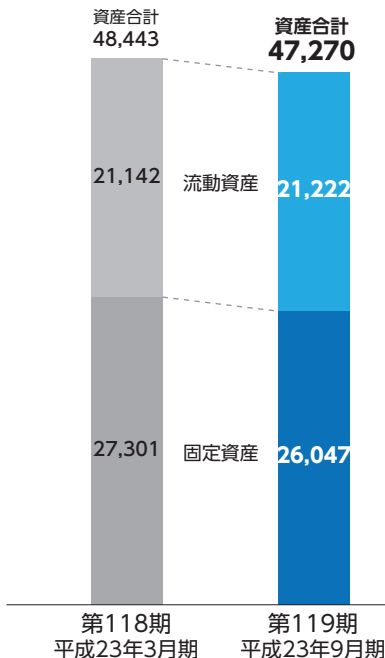
二輪車用チェーンについては、完成車メーカーの増産による受注増加により、順調に推移し、産業機械用チェーンについては、ほぼ前年同期並の受注状況で推移しました。その結果、売上高は20億45百万円となりました。



財務の状況（連結）

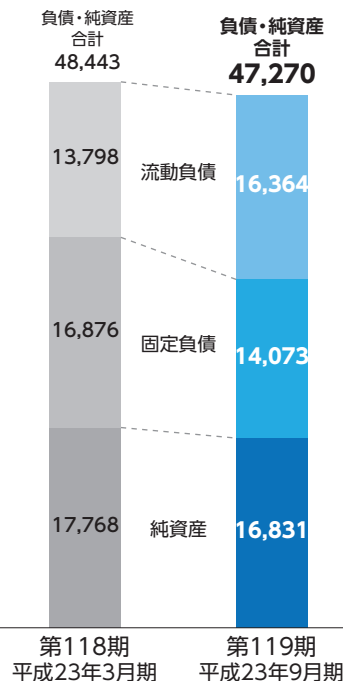
資産の部

単位：百万円



負債及び純資産の部

単位：百万円

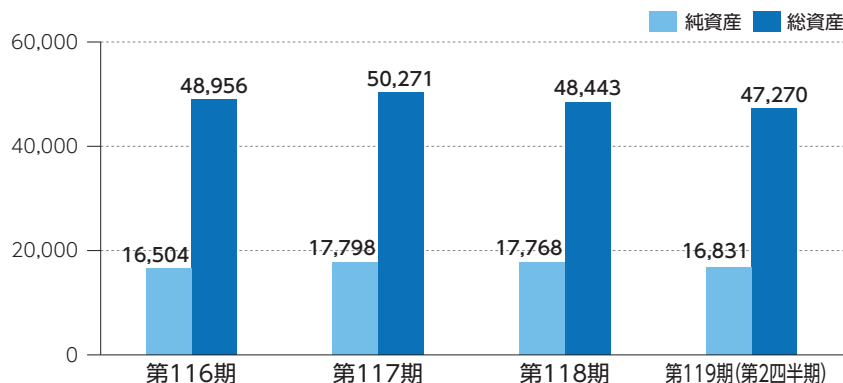


ポイント解説

総資産は、棚卸資産及び繰延税金資産が増加したものの、投資有価証券が大きく減少したことなどにより、前期末と比べ11億73百万円減少しました。負債は、支払手形及び買掛金、賞与引当金が増加したものの、借入金（短期借入金・長期借入金）、繰延税金負債、退職給付引当金の減少により、前期末と比べ2億37百万円減少しました。純資産は、その他有価証券評価差額金の減少などにより9億36百万円減少しました。

純資産・総資産

単位：百万円

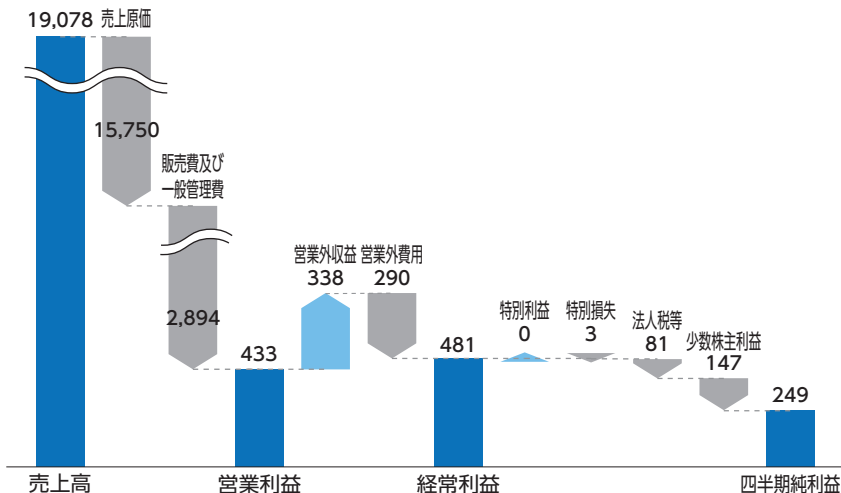


ポイント解説

自己資本比率は、投資有価証券の時価下落によりその他有価証券評価差額金が減少したことなどで、前期末に比べ1.6ポイント減少の26.8%となりました。

● 損益の状況 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

単位：百万円



● ポイント解説

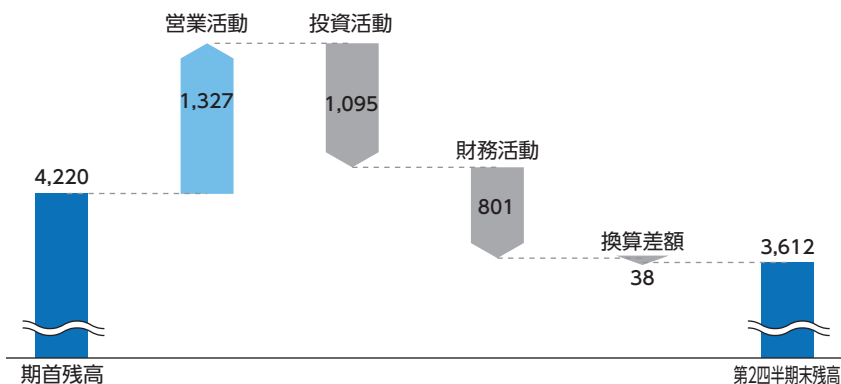
海外においては四輪車用チェーン量産納入開始に加え、アジア・南米を中心とする新興国における二輪車需要により受注は増加しましたが、国内においては震災による影響と低調な設備投資需要により厳しい状況で推移しました。その結果、売上高は前年同期比で若干増加しましたが、為替の円高基調や原材料価格の高騰等の影響により減益となりました。

(単位：百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
第119期	平成23年9月期	19,078	433	481	249
第118期	平成22年9月期	19,052	665	573	253

● キャッシュ・フローの状況 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

単位：百万円



● ポイント解説

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に減価償却費の計上及び仕入債務の増加により13億27百万円の獲得となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得により10億95百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入の返済により8億1百万円の支出となりました。

会社の概況

商 号：大同工業株式会社
 設 立 年 月 日：昭和8年5月25日
 資 本 金：27億2,637万円
 従 業 員 数：733名（個別） 2,275名（連結）

事業所

本社・本工場：石川県加賀市熊坂町イ197番地
 福 田 工 場：石川県加賀市大聖寺下福田町ソ20
 動 橋 工 場：石川県加賀市動橋町サ22-1
 東 京 支 社：東京都中央区日本橋人形町3-5-4（MS-2ビル）
 大 阪 営 業 所：大阪市中央区南船場2-12-12（新家ビル）
 名 古 屋 営 業 所：名古屋市中村区名駅南4-9-7
 浜 松 営 業 所：浜松市中区菰丘1-19-11
 熊 本 営 業 所：熊本県菊池市旭志川辺1074-1

グローバルネットワーク

国内ネットワーク

- 株式会社D.I.D
- 株式会社大同ゼネラルサービス
- 株式会社大同テクノ
- ガイド建設株式会社
- 新星工業株式会社
- 株式会社月星製作所
- 株式会社和泉商行

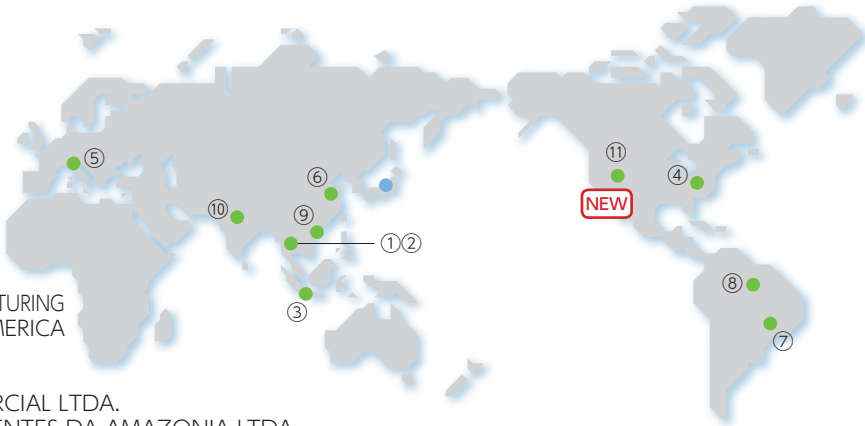
海外ネットワーク

- ① タイ DAIDO SITTIPOL CO., LTD.
- ② タイ D.I.D ASIA CO., LTD.
- ③ インドネシア P.T. DAIDO INDONESIA MANUFACTURING
- ④ アメリカ DAIDO CORPORATION OF AMERICA
- ⑤ イタリア DID EUROPE S.R.L.
- ⑥ 中国 大同鏈条（常熟）有限公司
- ⑦ ブラジル DAIDO INDUSTRIAL E COMERCIAL LTDA.
- ⑧ ブラジル DAIDO INDUSTRIA DE CORRENTES DA AMAZONIA LTDA.
- ⑨ ベトナム D.I.D VIETNAM CO., LTD.
- ⑩ インド DAIDO INDIA PVT. LTD.
- ⑪ アメリカ RAD MANUFACTURING NEW

会社役員状況

会社における地位	氏 名
取 締 役 社 長	新 家 康 三
専 務 取 締 役	立 田 康 行
常 務 取 締 役	中 野 金 一 郎
常 務 取 締 役	平 野 信 一
取 締 役	金 野 誠 一
取 締 役	武 田 良 一
取 締 役	西 谷 伸 一
取 締 役	新 家 啓 史
取 締 役	菊 知 克 幸
常 勤 監 査 役	福 田 治
監 査 役	笠 松 靖 男
監 査 役	棚 橋 健 一
監 査 役	東 森 正 則

（注） 1. 監査役笠松靖男氏、監査役棚橋健一氏及び監査役東森正則氏は、社外監査役であります。
 2. 当社は、監査役棚橋健一氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届出ております。



株式の状況

発行可能株式総数：160,000,000株

発行済株式総数：47,171,006株（自己株式45,745株を含む）

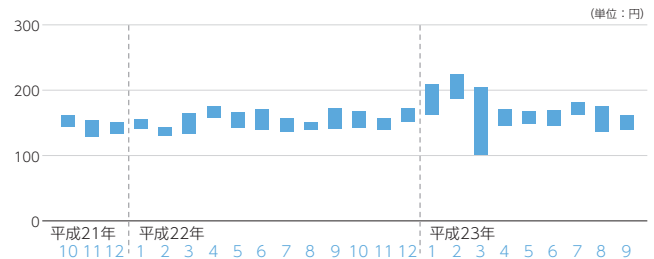
株主数：4,746名

大株主（上位10名）

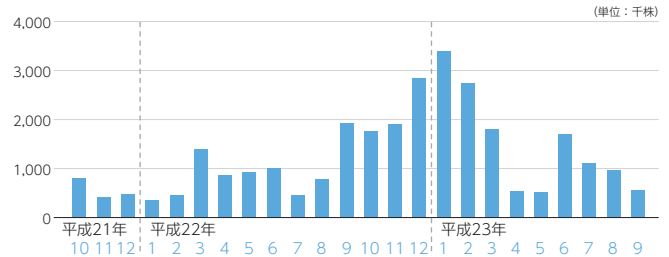
株主氏名及び名称	持株数	持株比率
株式会社北國銀行	2,281千株	4.84%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,711	3.63
株式会社飯田	1,570	3.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,568	3.33
日本生命保険相互会社	1,377	2.92
加賀商工有限会社	1,308	2.78
大同生命保険株式会社	1,298	2.75
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,291	2.74
株式会社みずほ銀行	1,291	2.74
新家萬里子	1,287	2.73

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

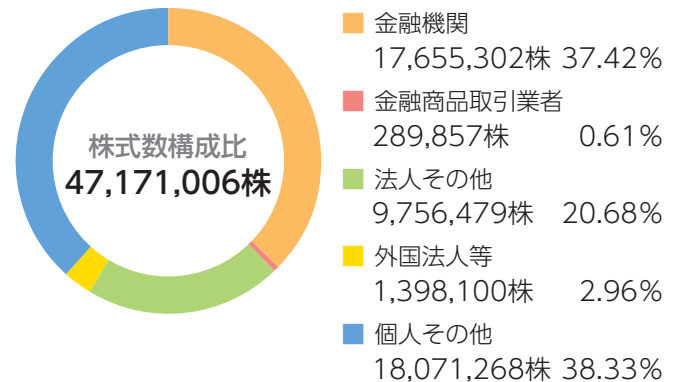
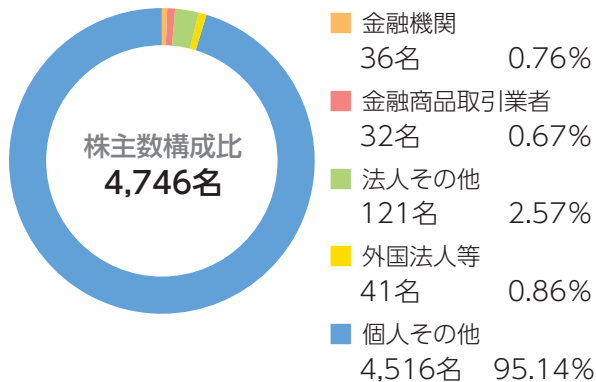
株価（高値・安値）の推移



出来高の推移



株式分布状況



株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月開催		
単元株式数	1,000株		
基準日	定時株主総会	3月31日	
	剰余金の配当	期末	3月31日
		中間	9月30日
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社		
同連絡先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部  0120-176-417 http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html		
公告の方法	当社ホームページに掲載(電子公告) http://www.did-daiko.co.jp/jp/index.html		
上場取引所	東京証券取引所市場第一部		
証券コード	6373		

お知らせ(株式事務のご案内)

■ 各種手続き・ご照会について

株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなります。住所、氏名のご変更、配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買取請求などのお手続きに関するお問い合わせ、お手続きに必要な書類のご請求等は、口座を開設されている証券会社までご連絡下さい。

■ 特別口座について

株券電子化の実施までに証券保管振替制度をご利用されなかった株式につきましては、株主名簿管理人である住友信託銀行株式会社に開設された特別口座に記録されております。特別口座で管理されている株式についてのお手続きに関するお問い合わせ、お手続きに必要な書類のご請求等は特別口座管理機関である住友信託銀行までご連絡下さい。なお、住友信託銀行の全国本支店でもお取次いたします。

■ 単元未満株式の買取制度について

当社では証券市場における取引単位を1単元(1,000株)とさせていただいておりますので、単元未満(1から999株)の株式は証券市場でのお取引ができません。当社単元未満株式の買い取りをご希望される株主様は、お取引のある証券会社(特別口座が開設されている株主様は、住友信託銀行)までお問い合わせ下さい。なお、買取請求に関する手数料は無料となっております。

■ 未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、住友信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

DIDグループ会社の紹介

【今後、当報告書を通じてDIDグループ会社をご紹介させていただきます。】

DAIDO SITTIPOL CO.,LTD.



DAIDO SITTIPOLは、タイの玄関口であるスワンナプーム国際空港より南へ約100kmに位置するラヨン県のサイアムイースタン工業団地にあります。

二輪車用チェーンの製造・販売を目的として、大同工業とタイ企業の合併会社として1996年に設立し、翌1997年より操業を開始しました。折しもタイを発端とするアジア通貨危機の最中、経営陣と従業員の熱意と努力により、2002年の第2工場の竣工や研究開発部門の新設など着実に進化を遂げてまいりました。その後も順調に売上を伸ばし、2008年には四輪車用エンジン内チェーンの量産を開始。記憶に新しい世界的な金融危機においても少なからず影響を受けましたが、攻めの姿勢を保ちつつ2009年には第3工場を竣工、その翌年には過去最高の売上を記録しました。

DIDグループ随一の生産量を誇る二輪車用チェーンは、タイ国内は勿論のこと東南アジアの広い地域で使用されております。また、慈善活動も大切な事業の一環と位置付け、東南アジアの国々の学校や病院などへの継続的な寄付を行っております。今年10月にタイを襲った大洪水に際しては、皆様にご心配をおかけしましたが、幸いにも直接的な被害は受けておらず、多くの従業員が積極的に救援活動に取り組みました。

洪水被害による影響の拡大も懸念されますが、巨大なマーケットである東南アジアにおける高品質チェーンの製造・販売を通じて、社会貢献とDIDブランドの更なる確立のため全社一丸となって努力していく所存です。

DAIDO SITTIPOL CO.,LTD. の概要

資本金：325百万バーツ

所在地：Siam Eastern Industrial Park 60/12 M.3
Mabyangporn, Pluakdaeng Rayong 21140, Thailand

敷地面積：53,000㎡

建築面積：17,600㎡

取得認証規格：ISO9001 及び ISO14001

従業員数：478名（2011年10月現在）

ホームページURL：<http://www.ds.co.th/>

製品紹介



【ドライブチェーン】

DAIDO SITTIPOLの主力製品の二輪車用ドライブ（ローラー）チェーンです。完成車メーカーへの納入や補修用として幅広く使用されております。



【サイレントチェーン】

二輪車用のエンジン内チェーンです。特殊な形状により静音性を高め、静かで滑らかな駆動を可能にしています。

ホームページのご案内

<http://www.did-daido.co.jp/>



投資家の皆様に財務情報や最新トピックスをご提供しております。



より詳細な財務情報をご希望の方は、当社ホームページ
[投資家向け情報] に掲載している決算短信をご利用下さい。

大同工業 投資家向け情報

検索

<http://www.did-daido.co.jp/jp/ir/index.html>

